					主なSDG							Gs(17のゴールと169のターゲット)											
分類	No.	No. チェック項目	チェック項目	チェック項目 基本 ^{チャレン}		具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
						1 対照をなくそう	((()	3 #ペての人に -///◆	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	■ を世界中に	・してクリーンド	8 報告的いる 経済成長も	9 福祉をつくろう	10 êtres	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	12 分的預信 CO	13 紫州安徽に 東保的な対策を	14 海の豊かさを 安ろう	10 (PA)	16 早和と公正を すべての人に	17 日報を選択しよう	
	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	•		・株式会社ビッグバイオでは月に一度、経営理念を経営者と従業員で 共有しており、経営理念に基づいた行動をしているか、従業員に発表 してもらっている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組み を構築している。	•		・法令厳守の規定があり、その重要性を朝礼や毎月の全体会議で全社 員に向けて周知している。											<u> </u>	0	1			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	•		・会社として公正な取引に努め、適正な契約・運賃を提案し全社員に向け、その重要性を発信している。また、朝礼でも公正な取引に関して記述しているクレドを定期的に読むようにしている。										10						16		
6 г	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署など の体制を整備している。	•		・中核となる部署を任命している。 ・事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握してい る。																16		
組織・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	•		・秘密保持規定内に知的財産の取り扱いについて明文化しており、商標の登録や特許の登録をしている。特許技術に関しては新入社員研修のプログラム内で勉強会を開き、意識の向上に努めている。								8.2 8.3	9									
公正な	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	•		・情報漏洩防止に努め、個人情報取扱責任者を配置しており、管理者の もと金庫に適切に保管し管理している 。																16		
取引	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホル ダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消 費者、投資家等及び社会全体)	•		・クレームを大切にしており、記録をとり、社内で共有化できるようにし ている。また、商品についてお客様がレビューできる仕組みを導入して いる。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		•						5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP) を策定し、訓練や見直しを行っている。		•										9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		•									8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		•		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	•		・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。また、差別やハラスメントのあった場合、相談できるような仕組みを設けており、匿名での申告もできるよう仕組みを設定している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
,	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り 組んでいる。	•		・業務中の事故等を防ぐため、社内掲示や定期的な勉強会、情報の共 有に組んでいる。			3					8.8										
,	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応して いる。	•		・従業員(正社員、パートタイマー)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の 両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	•		・残業時間、有給休暇の取得状況を管理している。 ・育休を取得しやすい環境整備や、育児との両立を図るため時短勤務 など環境づくりに取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
労 働	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	•		・外部研修やセミナーの積極的な参加の指示をしている。また、社員の スキル向上のため、各個人が目標を定めて行動し、その発表を年に一 度行ってもらっている。				4	5.5			8	9									
· 人 権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向 上等に取り組んでいる。	•		・交通事故防止のための注意喚起を朝礼で、定期的に行っている。 ・社員に健康診断受診を勧め、健康管理を行っている。 ・社内工場内の各所に除菌剤を設け、ウイルス感染やクラスター発生の 防止に努めている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍でき る環境の整備に取り組んでいる。	•		・業務運営や昇進・昇格等に差別はなく、外国人など多様な人材の採用 や、女性活躍への環境整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレ ワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		•	・テレワークやウェブ会議、リモート商談などを実施している。 ・社内工場内の各所に除菌剤を設け、ウイルス感染やクラスター発生の 防止に努めている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により 業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		•	・【予定】製品在庫や資材在庫管理のIT化を図っており、2022年度から実施できるよう取り組んでいる。								8	9.1		11	12						
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		•				3	4				8	9			12						

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

									111111111111111111111111111111111111111	1	<u></u>	主なSD	Gs(17の	ゴールと1	69のタ-	ーゲット)						
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン	具体的な取組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
				9	(※事業者が記載する欄)	1 共産業 (大学)	2 ## £	3 オペての人に 健康と福祉を —///◆	4 別の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 ###-#################################	8 服治成果6	9 産業と技術系統の基盤をつくろう	10 APBOATE EXCEP	11 住み扱けられる まちづくりを	12 つぐる責任 こか う責任	13 類様変態に 異体的な対策を	14 #08bbs # 950	15 #08##6 ####	16 FREWEE	17 パートナーシップで 日報を達成しよう
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	•		・環境汚染予防のため、適切な管理及び処理に取り組んでおり、薬品やアルコールの管理を徹底している。 ・環境に配慮した設計の商品作りに取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に 取り組んでいる。	•		・使用電力のデマンドを見える化しており、休憩時間中にはオフィス内を消灯し、無駄な電力使用の削減に努めている。また、照明機器は LED化し、電力消費の削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでい る。	•		・【予定】2022年内に簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出し、営業車はアイドリングストップ機能のついた社用車を使い、温室効果ガスの排出削減に努める。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう に配慮している。	•		・自社商品が人や動物などに負荷のかからないよう、配慮した設計に している。また、なるべく薬品や化学物質に頼らない商品作りをしてい る。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	•		・再生用紙の利用、ペーパーレス化を促進している。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性保全に努めている。 ・大量の不動在庫が起こらないよう、資材の管理や出荷予測などをたて、資源のムダの削減に努めいている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	•		・水資源を大切にするため、自社で浄水器や純水装置を設置している。 ・水資源を大切にできる商品「エコ・バイオリング」「エコ・バイオロック」 「エコ・バイオサンド(マジカルキャッチ)」の拡販に努めている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
環 境	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	•		・過剰梱包が起きないような商品作りや、商品のリニューアルに努めている。また、FSC認証のある資材を使った商品づくりを行なっている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		•		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		•	・社内の無駄になっている土地を使い、植物を植えるなど緑化を行なっている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可 能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		•								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを 推進している。		•							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		•							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚 染の防止削減に貢献している。		•	・バイオプラスチックの分解を早めるような物質の研究を行なってい る。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車 などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		•					0		ō		ō	9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組 んでいる。		•								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

						_			 È _	 Ē	 E	 :	Gs(17の:	······	· <u>·</u> ······			 				
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1 1 対回を なくそう	2	3 サベての人に 3 乗車と福祉を	4 異の高い数判を 4 みんなに	5 5 ××××-+**	6 gearthi	7 = 3.5.5- £ 3.45K	8 動きがい6 8 軽済成長6	9	10 APBOATS	11 @281/581	12 334	13 *******	14 NOBINEE	15 ROBAGE	16 FREQUE	17
						Ň¥ŤŤ÷Ť	<u> </u>	<i>-</i> ₩•	J. SACE	©	O SERVER	- \overline{\ove	M	A RESCO	√	A	CO	13 気候変動に 具体的な対策を		4 **	. Yes	17 パートナーシップで 日報を選択しよう
	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	•		・製品・サービスの安全性や品質の確保について、経営理念に設けており、経営者と社員の共有化ができている。・製品の品質が保てるよう、規格書を作成し共有化している。			3.9						9			12.4					
製品	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環 境整備を行っている。	•		・人や動物に負荷のかからない成分で、誰もが無理なく使える商品作りに努めている。特に天然由来成分や食品由来成分を使った除菌剤やペット用品を企画し、商品化している。									9.1	10	11.7						17
品 ・ サ-	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		•			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
ービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、 木質化を推進している。		•								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んで いる。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、 地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		•			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	•		・熊本地震や令和2年7月豪雨などに対し、県や市を通じて被災地へ寄付を行っている。 ・ボランティアなどの社会貢献活動等へ積極的に活動できるよう、社員による自主的なメンバーを募り、活動している。 ・フードバンクに商品を提供し、少しでも社会貢献できるよう努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減 するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進 めている。	•		・災害が発生した際の準備や備蓄品の購入を進めている。				4							11.5		13.1			16	
続可能	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急 等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加し ている。		•		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
な社会	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		•										9		11	12	13.1				
地方	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGs の普及啓発や教育機会の提供を行っている。		•	・社内でSDGsやエシカル消費等に関する勉強会を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地 域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		•	・児童から学生、インターンシップ生まで幅広く会社見学の受け入れを しており、職業の学びの場を提供している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		•					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産 業従事者の確保に取り組んでいる。		•			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。